

平成21年度森林整備革新的取組支援事業 試行的課題選定一覧

番号	モデル地域名	申請者名	実施内容
1	奥久慈八溝	藤田建設工業株式会社	平成21年度申請 「高密度路網型高性能林業機械による間伐施業効率向上実証事業」 四万十式の高密度路網(280m/ha)を整備し、プロセッサ・フォワードを用いて、総合的な作業効率の向上を図り、生産性を含めた収益性を調査する。
2	中日本圏域	愛知県森林組合連合会	平成21年度・22年度継続申請 「再造林地における低コスト針広混交林造成手法の実証」 現在では、針葉樹と広葉樹の混植における適正な植栽配置や植栽密度が明確にされていないため、疎植や下刈省力化でコストダウンを図りながら、有効な手法を探る。
3	中日本圏域	吉田本家山林部	平成21年度・22年度継続申請 「ヒノキポット苗の試作と造林」 挿し木によるヒノキポット苗の生産を行い、植栽本数の見直し・植栽人工数の削減・下刈の省力化により造林のトータルコストの削減につなげる。
4	岡山	前田林業株式会社	平成21年度・22年度継続申請 「コンテナ苗の育成による植林費の軽減に向けてpart3」 前年度に植栽したコンテナ苗の成長の他、下刈回数軽減を目的に設置した木質繊維ボードにより雑草木の繁茂がどれだけ抑えられているか等追跡調査を行う。
5	四国地域	久万広域森林組合	平成21年度申請 「持続的森林経営のための齢級構成変更と針広混交による新造林施業システムの構築」 齢級に応じて20年ごとに事業地の3分の1づつ更新し、跡地にはスギ1,000本/ha、クヌギ2,000本/haの低密度植栽を実施する。また、枝条をチップで破碎・敷設し、地拵えと下刈りを省力化を図る。
6	四国地域	須崎地区森林組合	平成21年度申請 「地形条件に応じた架線路網系複合間伐システム導入事業」 傾斜などにより路網開設が限定される現場で、列状間伐での架線集材と路網系集材を組み合わせた集材(コレクター・簡易架線・直掴み集材)を試行し、架線技術を活かした、汎用性のあるシステムの確立を目指す。
7	熊本	株式会社 泉林業	平成21年度申請 「車両系集材不適地でタワーヤーダを活用した魚骨状列状間伐」 岩石地など車両系路網集材の不適地で、最新のクローラ式タワーヤーダを用いて架線張り替えに要する時間を通常より大幅に減らし、葉枯らし乾燥を組み合わせた魚骨状列状間伐で上げ荷集材を行う。
8	宮崎	ヤマサンツリーファーム	平成21年度・22年度継続申請 「速水林業方式によるポット苗の生産・植栽による実証」 ヒノキポット苗の先駆者である速水林業の支援を受け、スギでのポット苗生産に取り組む。また、ポット苗専用の植栽器具開発も行い、植栽の省力化を図る。
9	鹿児島圏域	かごしま森林組合	平成21年度申請 「高密度路網と並列型作業システムによる低コスト施業構築事業」 集材路開設から土場仕分までの一連の作業を同時に行う並列型作業システムにより、高性能林業機械の能力を最大限発揮できる作業システムを実証し、低コスト施業の導入を図る。
10	鹿児島圏域	曾於市森林組合	平成21年度申請 「列状間伐後の樹下植栽による更新コスト低減及び造林未済地解消のための機械化による造林コスト低減の実証」 1残1伐列状間伐後の列下に1,500本/haで植栽し、コスト縮減効果を実証する。また、造林未済地のササ・雑木竹をロータリークラッシャーで伐採し、地拵えのコスト低減を図る。
11	鹿児島圏域	曾於地区森林組合	平成21年度申請 「地域特性に応じた作業路の配置と作業システムの構築」 作業路を幅員3mで高密度路網区(250m/ha)と低密度路網区(150m/ha)に分けて開設し、列状間伐を実施するにあたり地域の特性に合った作業路開設延長と作業システムについて実証する。